

## 選択教科

選択教科部会

### I 選択教科について

現行学習指導要領の教育課程において、選択授業は標準授業時数の枠外に位置付けられている。そのため、特色ある取り組みとして選択授業を実施している学校も多い。本校では、全教科において選択教科の展開が可能である。また、大学の先生の授業や、学部との連携研究が可能なことも本校の特色の1つであり、理想的な環境で実施することができる。これらの理由により、本校では2年生及び3年生で、各学年週1時間ずつ選択授業を実施することとした。

本校独自の取り組みとして、総合的な学習の時間に「探究」の時間を設けている。生徒が学習課題を設定し、主体的に学習を進めるこの探究の時間と関連づけ、選択の授業では教科の学習をより深める講座を設けた。生徒の興味関心に応じた学習を行うことで主体性を引き出す一方で、授業者が授業の中で意識的に生徒同士が交流する場面を設定することで、下記に引用した、学習指導要領にある主体的・対話的で深い学びを具現化するよう努めた。

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。（文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）より、下線部筆者』）

### II 今年度の取り組み

#### 1. 講座開設数について

表1のように、前期・後期の講座を合わせて、2年生では23講座が、3年生では24講座が開設された。

表1 教科別講座開設数

教科	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期
国語	2	2	2	2
数学	1	1	1	1
英語	1	1	1	1
理科	2	2	2	1
社会	1	1	2	2
音楽	1	0	1	0
美術	1	1	1	1
技術・家庭	2	2	2	2
保体	1	1	1	1

#### 2. 開設講座と受講者数

2年生の開設講座は表2、表3、3年生の開設講座は表4、表5の通りである。どちらも1講座につき10人～20人を定員の目安とした。

表2 2年前期選択講座

No.	教科	講座名
1	国語	文豪と私
2	国語	作家の時間
3	社会	地球の歩き方 ～世界の国を詳しく調べよう～
4	数学	数学の追求 ～深く考えていこう～
5	理科	土壌世界
6	理科	人の安全と健康
7	英語	グローバルコミュニケーション
8	音楽	クラシックギター

9	美術	木彫レリーフ
10	保体	ニュースポーツに挑戦!
11	家庭	布を使ったものの製作
12	技術	技術

表3 2年後期選択講座

No.	教科	講座名
1	国語	こちら CBF 放送局
2	国語	光る「推し」の君
3	社会	未来へつなぐ歴史探訪
4	数学	数学の追求 ～深く考えていこう～
5	理科	再結晶が織りなす光の細密画
6	理科	マイナー生物調査隊
7	英語	グローバルコミュニケーション
8	美術	銅板レリーフの制作
9	保体	体育授業でやったことないスポーツ体験
10	家庭	食文化カフェ
11	技術	ものづくり

表4 3年前期選択講座

No.	教科	講座名
1	国語	こちら、オールド・メディア・ステーション
2	国語	こちら、インターネット・メディア・ステーション
3	社会	地図と〇〇
4	社会	社会問題を解決しよう! ～いじめ・ソーシャルビジネス・デートDV～
5	数学	数学の追求 ～深く考えていこう～
6	理科	土壌世界
7	理科	附属中図鑑
8	英語	グローバルリーディング
9	音楽	箏
10	美術	ドライポイント
11	保体	マイナースポーツに挑戦
12	家庭	布を使ったものの製作
13	技術	作品制作

表5 3年後期選択講座

No.	教科	講座名
1	国語	これからの自分の背中を押す名言集を作る

2	国語	SNS コミュニケーション辞典
3	社会	豊かに生きる方法を考える
4	社会	社会問題の新たな解決策を創造する IT 技術の可能性とは!?
5	数学	数学の追求 ～深く考えていこう～
6	理科	まかせなサイエンス やってみなサイエンス
7	英語	グローバルリーディング
8	美術	附属中の教室のピクトグラムや 掲示用のポスターを制作しよう
9	保体	マインドフルネス&リラクゼーション
10	家庭	食文化カフェ
11	技術	ものづくり

### Ⅲ 今年度の取り組みに対する分析

#### 1. アンケート内容

9月(前期末)・1月(後期末)に、受講生徒全員を対象に Google フォームを活用したアンケート調査を実施した。質問項目は昨年度と同様で、記号選択式とした。また、具体的な内容について自由記述を求めた。

#### 2. アンケートの結果

- ① 選択授業を通して、自分から調べたい・深めたいと感じたことはありましたか。

② 選択授業を通して、自分なりに工夫したこと・深めたことはありましたか。

以上の2問については、どの学年においても肯定的な回答が90%を超えた。具体的な内容を答える質問にも、「土の種類によってどのような性質があり、その性質が日常生活で土でできたものにどのように利用されているかを知ることができた。(3年前期理科)」, 「いろいろな種類メディアについて調べることができた。ポッドキャストのランキングを調べたりしてどのようなものが人気なのかを考えた。そしてネットでのインスタグラムの仕組みなどを知ることができた。(3年前期社会)」, 「ドライポイントで絵がひっくり返って印刷することを考えて進めることができました。また、影をどうしたら傷つけるだけでいいのか調べたいと思いました。(3年前期美術)」といった回答が得られ、生徒の興味・関心を引き出すきっかけ

となった授業展開が行われたことを読み取ることができた。

③ 選択授業を通して、自分なりにこだわって試行錯誤を続けたことはありましたか。

この質問については肯定的な回答が2年生で70%、3年生で80%程度になっており、生徒が主体的に試行錯誤しながら学習に臨む、探究的な活動になっていたかという点では次年度以降に内容の改善の必要性があることとなった。

④ 選択授業の感想を自由に書いてください。

以下に具体的な生徒の記述を載せる。

「選択授業を通して関わったことない別のクラスの人とも一緒に協力することができてやったことのないスポーツをすることができて良かったです。附属中だけのルールを作って楽しむこともできたので良かったです。（2年前期保体）」

「楽しかったし、一番自分で考えて調べられた。少人数での授業ということもあって発言も楽で、授業のペースもスムーズでよかった。自由に考えて器具を使って調べられたことがうれしかった。（2年前期理科）」

「最初は外国人と話すということに緊張していたけど、回数を重ねるにつれてどうやったらもっとわかりやすく伝えられるか、面白い発表ができるかを考えて交流ができたので、毎回とても楽しかった。オーストラリアの子たちも日本語を学んでくれているのが嬉しかった。今回は主に英語で話していたけれど、日本語でも話してみたいと思った。（2年前期英語）」

「大きな興味をもっていたギターに生まれて初めて触れることができて楽しかったです。今後は自分が好きな曲の弾き語りができるようにもっと練習を重ねてみたいと思いました。（2年前期音楽）」

「パドレットを使用した授業が一番印象に残っている。SNSとの上手な付き合い方を考えるよききっかけとなった。SNSで情報を受け取る側だけでなく自分から発信することについて学ぶ機会はあまりないので今後こういった授業が増えていくといいなと思った。

（3年前期社会）」

「人数が少なかったこともあり、担当の先生と楽しく会話をしながら普段はない視点で数学を楽しむことができたのでとても良かった。（3年前期数学）」

「毎回静かな環境で集中して取り組むことができたため、勉強の息抜きにぴったりでいつもリラックスできた。（3年前期美術）」

### 3. 分析

学習の途中段階でのアンケートであったため、講座ごとに差はあったものの、全般的に生徒の主体性を引き出すための効果的な学習活動が実現されていると考えられる。大多数の生徒が選択授業に対して肯定的な感想をもっていることから、生徒の興味・関心にあった講座開設ができていると言えるであろう。生徒の中には、複数年にわたり同じ教科を選択している生徒がおり、その点においても生徒個々のニーズに合った学習活動が行われていると言える。しかし、探究的な学習活動の実践という面での改善の余地があるが、本校独自の実践である「探究」の時間との差別化を図りつつも、生徒の主体性をさらに引き出すような実践を今後も継続していきたい。

## IV 今後の展望

例年と同様に、今年度も千葉大学教育学部教員や研究室・大学院生と本校教員が連携し、学期を通して授業を展開した講座があった。これらは生徒や関係した本校教員にも貴重な経験となっている。今後も継続し、一層の充実を図っていきたい。

一方で、必修教科における学びと、「探究」の学びとを関連づけた選択教科の在り方を模索しながら、生徒の知的探究心をくすぐる講座の実施を目指していきたい。

### 引用文献

文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）』